

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会	主 査 名：後藤 義明 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：広田 直行 主 査 名：山田 哲弥
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知見を蓄積・更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言する。</li> <li>・ 小委員会の開催と建築人間工学の若手研究者の支援</li> <li>・ 建築人間工学研究会の開催</li> <li>・ 建築人間工学に関する刊行物の出版</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：後藤義明(岡山理科大学)、幹事：飯塚裕介(大東文化大学)、畠山雄豪(東北工業大学)、 委員：老田智美(NATS 環境デザイン)、岡田明(大阪市立大学大学院)、 古賀紀江(関東学院大学)、古瀬敏、佐野友紀(早稲田大学)、嶋田拓 (明野設備研究所)、 白石光昭 (千葉工大)、田中直人(島根大学)、徳田 良英(布帝京平成大学)、 田健 (国総研 NILIM)、吉岡陽介 (千葉大)、高橋未樹子 (コマニー(株)) (2019 年から)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報技術を利用した人間工学的建築評価手法 WG：計測機器や VE に関する研究成果を集め、計測機器の精度等を評価し、VE 技術の新たな可能性を検討する。</li> <li>・ 人間特性の多様性に着目した設計事例・基準検討 WG：多様な人間特性に着目し、これらの特性から導かれるデザイン事例を検証するとともに、関連する設計基準の現状と規定内容について検討する。</li> </ul>	
2018 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s23/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s23/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	公開研究会 第 65 回建築人間工学研究会 「トイレの建築人間工学-オリ・パラは未来に何を残すのか?-」 2020 年 3 月 11 日開催予定 参加者見込み 40 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会開催：4 回 (活動計画 4 回予定) 2. 研究会開催：1 回 (3 月 11 日に開催予定) (活動計画 2 回予定) 3. 出版なし (活動計画 出版予定)
委員会活動の問題点・課題	1. 当初予定の建築人間工学事典の改定に代わり、設計事例の Web 出版を目標としたが、事例収集につとめたものの刊行までには至らなかった。 2. WG の活動が活発化され、研究会の開催まで結びつけることができたので、引き続き活動を促進する。